

光・量子融合連携 研究開発プログラム シンポジウム

S C H E D U L E

- 09:15 開場・受付開始
- 09:30 - 09:40 開式の辞
家 泰弘 (東京大学物性研究所・教授 光・量子融合連携研究開発プログラム 総括プログラムオフィサー)
- 09:40 - 09:50 主催者挨拶
工藤 雄之 (文部科学省 研究開発基盤課量子放射線研究推進室長)
岡田 安弘 (高エネルギー加速器研究機構 理事)
- 09:50 - 10:25 「レーザー・放射光融合による光エネルギー変換機構の解明」
足立 伸一 (高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所 教授)
- 10:25 - 11:00 「量子ビーム連携によるソフトマテリアルのグリーンイノベーション」
高原 淳 (九州大学先端物質化学研究所 教授)
- 11:00 - 11:35 「エネルギー貯蔵システム実用化に向けた水素貯蔵材料の量子ビーム融合研究」
町田 晃彦 (日本原子力研究開発機構量子ビーム応用研究センター 研究副主幹)
- 11:35 - 13:00 昼 食 (85分)
- 13:00 - 13:40 特別講演
「光・量子ビームの利用による創薬の加速」
西島 和三 (持田製薬 (株) 医薬開発本部 課長 / 東北大学 未来科学技術共同研究センター 客員教授)
- 13:40 - 14:15 「小型加速器による小型高輝度 X 線源とイメージング基盤技術開発」
浦川 順治 (高エネルギー加速器研究機構研究支援戦略推進部 URA)
- 14:15 - 14:50 「極限レーザーと先端放射光技術の融合による軟 X 線物性科学の創成」
辛 埴 (東京大学物性研究所 教授)
- 14:50 - 15:25 「ものづくり現場で先端利用可能な小型高輝度中性子源システムの整備・高度化」
大竹 淑恵 (理化学研究所光量子工学研究領域中性子ビーム技術開発チームリーダー)
- 15:25 - 15:40 休 憩 (15分)
- 15:40 - 16:20 特別講演
「日本鉄鋼業への光・量子ビーム利用についてその期待と産学連携」
小松原 道郎 (元 JFE スチール (株) スチール研究所 研究技監)
- 16:20 - 16:55 「中性子とミュオンの連携による「摩擦」と「潤滑」の本質的理解」
瀬戸 秀紀 (高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所 教授)
- 16:55 - 17:30 「実用製品中の熱、構造、磁気、元素の直接観察による革新エネルギー機器の実現」
新井 正敏 (日本原子力研究開発機構 J-PARC センター物質・生命科学ディビジョン長)
- 17:30 - 18:05 「中性子と放射光の連携利用によるタンパク質反応プロセスの解明」
三木 邦夫 (京都大学大学院理学研究科 教授)
- 18:05 - 18:15 閉式の辞
井上 信 (京都大学・名誉教授 光・量子融合連携研究開発プログラム プログラムオフィサー)



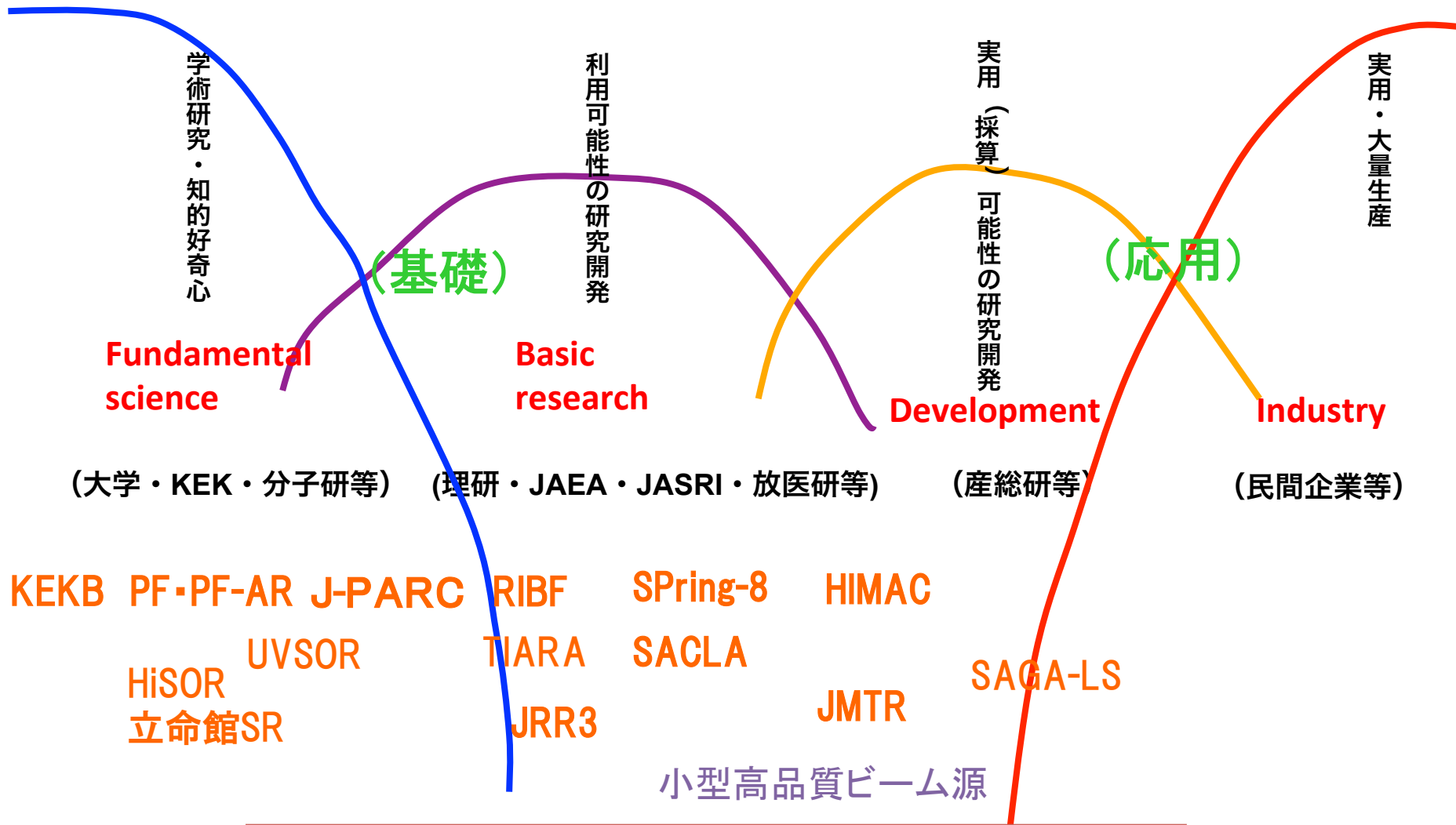
利用課題

特別講演

基盤課題

特別講演

利用課題



光・量子融合連携研究開発プログラム
Basic Research (応用を念頭に置いた基礎研究)

量子ビーム施設の整備・共用の促進

■施設間の連携の推進



光科学技術拠点

課題名 融合光新創生ネットワーク
 幹事機関 日本原子力研究開発機構
 参画機関 大阪大学、京都大学、自然科学
 研究機構分子科学研究所
 ※ 高品位高輝度光源の開発

SPring-8・SACLA



施設種: 放射光/レーザー
 設置者: 理化学研究所
 立地: 兵庫県佐用郡

TIARA



施設種: イオンビーム
 設置者: JAEA
 立地: 群馬県高崎市

J-PARC



施設種: 中性子線
 設置者: J-PARC: JAEA・KEK、その他: JAEA
 立地: 茨城県那珂郡

JRR-3



JRR-4



HiSOR



施設種: 放射光
 設置者: 広島大学
 立地: 広島県東広島市

PF-PF-AR



KEKB



施設種: PF: 放射光、KEKB: 電子-陽電子ビーム
 設置者: 高エネルギー加速器研究機構
 立地: 茨城県つくば市

SAGA-LS



施設種: 放射光
 設置者: 九州大学
 立地: 佐賀県鳥栖市

立命館大学SRセンター



施設種: 放射光
 設置者: 立命館大学
 立地: 滋賀県草津市

UVSOR



施設種: 放射光
 設置者: 自然科学研究機構
 (分子科学研究所)
 立地: 愛知県岡崎市

RIBF



施設種: イオンビーム
 設置者: 理化学研究所
 立地: 埼玉県和光市



光科学技術拠点

課題名 先端光量子科学アライアンス
 幹事機関 東京大学
 参画機関 理化学研究所、電気通信大学、
 慶應義塾大学、東京工業大学
 ※超高周波数安定光源、アト秒科学の確立

■光科学研究拠点の形成

■量子ビーム基盤技術の開発を推進

(「光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発」)

